光一中だより

教育目標
○自主的に学び、考え、実行する人
○心豊かで、ともに助け合う人
○健康で、勤労を愛する人

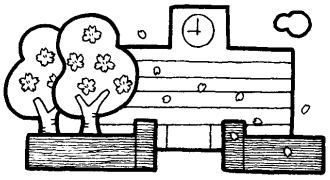
練馬区立光が丘第一中学校
校　長　　豊田　貴志
令和６年度　第９号
令和７年１月１０日

「これまで」と「これから」

校　長　豊　田　貴　志

年が明け、令和７年の始まりとともに３学期がスタートしました。昨年のスタートは大きな地震や飛行機事故など、心が痛むできごとがありましたが、今年は穏やかに新しい年が始まりました。年明けからの３か月はあっという間に過ぎ去ってしまいます。学年のまとめと、次の学年に向けての準備を計画的に行うことが大切です。新たな決意とともにこの３学期を乗り切っていきましょう。

さて、先月１２月１４日（土）に光が丘第一中学校の４０周年記念式典ならびに祝賀会が本校体育館で行われました。本校の開校は４０年前の昭和５９年４月までさかのぼります。光が丘地域初の中学校として開校し、４学級１４３名の生徒から始まりました。そして現在では４６３６名もの卒業生たちを送り出してきた歴史のある学校となりました。この大きな節目を全校生徒だけでなく地域・保護者の方、そして多くのご来賓の皆様とともにお祝いできたことはたいへん喜ばしいことです。



式典は厳（おごそ）かに、祝賀会は賑（にぎ）やかに進みました。今回の祝賀会での目玉企画は「新標準服と体育着・ジャージ」のお披露目（ひろめ）でしたが、劇あり、ファッションショーあり、ダンスありとたいへん盛り上がりました。今回の祝賀会の企画を考えてくださったのは、開校４０周年行事実行委員の皆様でした。実行委員の皆様から感じたのは『我が街の我が学校』の節目を祝おうという情熱です。そして生徒の皆さんも一緒に楽しめる会にということを第一に考えてくださいました。当日の朝のリハーサルまでシナリオの変更があり、直前まで準備をしてくださいました。光が丘第一中学校が、地域の皆様に愛されて過ごしてきたのだということを強く感じた瞬間でもありました。

今まさに一中生である皆さんは、この節目を迎え今後何をすべきでしょうか。それは『中学校生活でできることをやり切る』ことだと私は考えます。難しいことをするのではなく、今できること、当たり前のことを精一杯やり切る、その姿勢が大切です。学習、学校生活、行事、委員会活動、部活動、自分にできることを考えましょう。きっと皆さんならできるはずです。